

現代世界政治 — アメリカと北朝鮮

倉 田 稔

も く じ

はじめに

1 グローバル資本主義

2 アメリカの戦争

ベクテル アフガニスタン戦争 イラク戦争

3 北朝鮮

結論

はじめに

小生は、『グローバル資本主義の物語』（NHK ブックス 2000 年初版，その後，電子図書，2004 年第 2 刷）を出し，それについていくつか補足をした。「『グローバル資本主義の物語』について」（『商学討究』第 51 巻第 1 号），「世界経済および、『グローバル資本主義の物語』 2」（『商学討究』第 53 巻第 4 号）であり，本稿はその継続に位置づけられる。

また，関連として，「近世から現代へ世界の政治・経済・社会の変遷」（『緑丘』90 号，創立 90 周年特集，東京・緑丘会）がある。

書評では，内田 博「資本主義の暴力性 — 倉田 稔の新書」（『商学討究』第 51 巻第 4 号），星野 中，書評，ポスト・マルクス研究会，2001 年 3 月 28 日，熊本。インターネットで，西川尚武，がある。

1 グローバル資本主義

資本主義の覇権国の変遷を概観すると、まずイタリアに始まり、スペイン・ポルトガル、オランダ、イギリス、アメリカと覇権国が替わった。20世紀の超巨大資本は、ロスチャイルド、ロックフェラー、モルガンのグループである。世界がアメリカ国際金融資本によって支配されている。資本主義は本来グローバルである。その起源は十字軍に求められる。強国の自由経済主義と、それに対応する手段として保護主義が対立してきた。常に自由競争経済とブロック経済がある。19世紀から工業生産的労働者が初めは増大したが、生産性の発展により生産的労働者の比率が先進国で減少した。その上、第三世界に生産が移譲された。先進国と従属国の相対的差異は、グローバル資本主義によって増大される。相対的に、富める国は富み、貧しい国は貧しくなる。

グローバリズムに対する対抗勢力として、リージョナリズムがある。あるいはそれは自由市場対保護市場の対立でもある。後者は、古くはハプスブルク帝国、ブロック経済、EU、社会主義圏である。

自由貿易は強者が代表する。世界は必ず二分化し、強者と弱者に分かれる。

戦争を引き起こす原因は、経済であり、利権である。とくに現代に近づけば近づくほど、その傾向は強まる。

技術の波及は階層的である。つまり1流技術国があれば、2流・3流の技術国ができ、そこでの商品は高度化する。

労働者階級の運命は交替する。一方で、欧・米・日では、新中間階層化され、他方で、第三世界で労働者階級は増大している。ただしそれらを労働者階級と云えるかは疑問であり、種々のタイプの勤労階級である。

国際面での価格変動の利用による投資利益が主となった。これらの内容は、主に金融商品や外貨である。各国の商品の価格差が大きいので、それが輸入・輸出を通じて利益を追求される。

世界では、自由競争主義、市場完全知識前提、均衡主義が、理想あるいは前提となっている。これは現実には合わない。

2 アメリカの戦争

ベクテル

アメリカの大企業ベクテルは、サンフランシスコに本社をおき、ダム、精油所、石油パイプライン、空港、原発を、世界的規模で展開する企業である。この会社は共和党政権と結びいた。かつての社長であったシュルツは、国務長官に就任し、副社長であったワインバーガーもまた、国務長官の座にすわった。政府は、イラク復興をベクテルに行わせた。同社は 1999 年から 4 年間で 76 万ドルを共和党に献金した。レーガン時代にはフセインと組み、シュルツはアメリカの「イラク解放委員会」の議長をつとめた。ベクテル社は、ブッシュ政権と密着し、サウジ・アラビアとクエートに一大利権をもった。(1)

アフガニスタン戦争

2001 年、ロシアのプーチン大統領が、アメリカのブッシュ大統領にこう知らせた。イスラーム過激派が 9 月の遅くない時期に、ニューヨークの有名なビルにつっこむ、と。ブッシュはしかしすでにそれを知っていただろう。というのは、CIA (アメリカ中央情報局) は、8 月 6 日にすでに危険を伝えていたからである。テロ対策長官クラークと副大統領チェイニーにはこの情報を知らせた、と CIA 職員は語った。副大統領が大統領に伝えなかったことは考えられない。この事件の直前、ブッシュ大統領は、持っていたアメリカン航空の株を全部売った。

その 9 月 11 日にテロが起きた。9・11 では 19 人のテロリストがいた。テロを見てブッシュは「すぐ戦争だ」と言った。つまりやらせたのである。こうしてアフガニスタン戦争がアメリカによって始められた。

イラク戦争

アメリカでは、この戦争でキリスト教とユダヤ資本が結び付いた。2004 年、米・大統領選挙があり、ブッシュが再選された。アメリカで対イラク戦は、

8割が賛成した。マッカーシズムの再来であった。ノーマ・フィールドさんは語ったが、この状況で戦争反対が言えなくなった、だから小林多喜二の状況はいつでも生まれる、と。ただし戦後、意見が2つに別れた。ブッシュ政権は、サダム・フセインとビン・ラディンが深く関係しているという理由で戦争を行なった。ここで主要な役割を演じたのは、政治ではネオコン(ネオ・コンサーヴァチヴ)である。

アフガニスタン戦争が終わってから、ブッシュは奇妙なことを言った。「悪の枢軸」である。北朝鮮、イラク、イランの3国を、「悪の枢軸」となづけた。このうちイラクを攻撃することになった。この3国は反米である。しかしリビアも反米である。イラクと北朝鮮は独裁国である。だがイランは独裁国ではない。

イラクがオサマ・ビンラディンをかくまっているとして、またイラクが独裁だからという理由で、結局戦争を始めるのだが、それは真の理由ではない。イラクの石油がほしかったのであった。初めは、イラクに核兵器があると、アメリカは主張した。国連核視察を受け入れよと、アメリカは言った。イラクは受け入れた。だが核兵器はなかった。北朝鮮は、核を持っていないとは言っていない。それなのに、国連核視察団も入れなかった。だがアメリカはそんな要求もしなかった。

その後、イラクに大量破壊兵器があると、アメリカは言った。イラクを視察したら、確かにその存在を確認する報告がなされた。だが調査団がブッシュ好みの報告を捏造したのだった。後日調査団はそう告白した。実際はなかったのである。だがそれを理由として、アメリカはイラク戦争を始めた。

アメリカをのぞけば、石油の生産は、世界で、サウジ・アラビアが1位、イランが2位、3位がイラクである。それにイラクの石油は質がよかった。サダム・フセイン政府を倒して、石油をアメリカに有利に輸入したいというのが、アメリカの望みだった。そのため、国連を利用しようとした。しかし国連はイラク戦争に反対であった。そこで、アメリカは、国連なしで、イギリスと一緒に、イラク戦争を起こした。

フランスのイラクにおける石油利権は大きかった。だから戦争する必要はなかったので、フランスは戦争に加わらなかった。イギリスは伝統的にモスル油田をもっていた。イラクでもっとも有名な油田である。これを回復しようとした。

イラク戦争にアメリカ、イギリスは勝利し、サダム・フセイン政権を追い落とした。戦後 2005 年 3 月、イラクで初の暫定議会が開かれた。

アメリカは悪の枢軸と呼んだ北朝鮮を攻撃しない。なぜなら北朝鮮には石油は多く産出しないからである。

2005 年に、北朝鮮は、核を所有していると公言した。イラク攻撃をするならば、北朝鮮を攻撃するべきであり、またこの国は独裁国である。しかしアメリカは北朝鮮を攻撃しない。

世界の軍需企業			契約高	単位ドル
1 位	アメリカ	ロッキード・マーチン	179 億	
2 位	アメリカ	ボーイング	156 億	
3 位	イギリス	BAE システム	155 億	

(2001 年 ストックホルム国際平和研究所による)

世界各国の軍事費 単位ドル

1 位	アメリカ	2,946 億
2 位	ロシア	588 億
3 位	日本	444 億

(英国国際戦略研究所による)

2004 年 4 月、米軍は数千の兵力でファルージャに侵攻した。1 カ月近い米軍の包囲と攻撃によって、住民側の死者はおおよそ 730 人、負傷者は 2,800 人に達した。

2004 年、米・大統領選挙があり、ブッシュが再選された。

セネガルで1960年代に奴隷がいた。識字率が男性47%、女性28%である。ブータンでは平均寿命が48才だ。

インドネシアのアチェ民族は、スマトラ島にいる。国内でもっとも敬虔なイスラム教徒であり、また反植民地党争の先駆者である。16世紀にアチェ王国が築かれ、それ以来、アチェ民族は、ポルトガル、オランダ、また第2次大戦では日本軍に対して激しい抵抗運動をくりひろげた。1976年12月、アチェ独立運動が宣言され、運動が活発化する。

スハルト政権下、アチェ特別州は軍事作戦地域に指定され、1989年から1998年まで続いた。2003年以降、非常軍政事態、ついで非常民政事態が布告された。旧アチェ特別州は人口約450万人である。アチェ州は、石油と天然ガスを日本に輸出している。

2004年12月26日 スマトラ沖に巨大津波が襲った。インドネシアだけで、死者9万6千、行方不明13万2千となった。

3 北朝鮮

朝鮮の歴史は、高句麗、百済、新羅の3国時代がやってきて、300年続き、676年に、新羅が唐と連合し、高句麗、百済を下し、統一した。918年、王建が高麗王朝を作った。1394年、高麗の將軍だった李成桂が漢陽(今のソウル)を首都に選んだ。彼は1392年に即位し、朝鮮王朝はこの初代国王太祖から500年ここで続いた。4代世宗が名君である。

1592年 壬辰倭乱(文禄)と、1597年 丁酉倭乱(慶長)、2度にわたって、豊臣秀吉の侵攻で、破壊された。

1860-70代、資本主義列強が江華島を侵攻し、開国と通商を迫った。1875年、日本との江華島事件が起きた。

日韓併合の前段階として、1894年日清戦争があり、農民が東学を掲げて挙兵し、北上した。これは、キリスト教、仏教、道教、朝鮮の神道、の混合であった。衡平社→高麗共産党→東学という系譜である。

李王朝は清に出兵を要請し、明治政府がそれに対して出兵した。これで朝鮮を支配し、1905年、保護国とした。

朝鮮王朝の政治的実力者・閔妃が、朝鮮公使、三浦梧楼らに暗殺された(2)。こうして、1910年、日韓併合がなされ、朝鮮は日本の植民地になった。

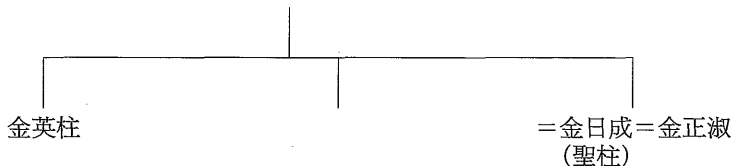
1919年3月1日、デモが起きる。この独立運動で、7・1千人が殺された。日本では1923年関東大震災で朝鮮人が6,000人殺された。

日本は北を工業化した。朝鮮総督府は宮殿を破壊して作った。

金日成は、1937年の有名な普天堡の戦いで活躍した英雄で、将軍である。彼は1900年ころ生まれた。本名は金成柱で、1937年秋、日本軍に包囲され戦死した。このころ朝鮮で、独立闘争で多大な功績を残した人物を金日成と呼ぶようになり、何人かはそう名乗った。

北朝鮮の独裁者になる高名な金日成は、1912年生まれで、本名は金聖柱である。幼少のころ中国に移住した。1932年の父の死後、彼は中国人の養子になった。母は生活に困った。彼は日満軍に追われてソ連へ越境し、中ソ共営のスパイ部隊・ブヤッコエの第八八特別偵察旅団の大隊長に、そしてソ連共産党員になった。あるいはこうも云われる。1940年冬、日本の討伐隊に追われ、満州からソ連へ逃れ、取調べを受けた。中国共産党が彼を保証した。中国共産党は、満州抗日連軍を作り、金聖柱もこの一員で、チン・リーヨンといった。

1945年、日本帝国主義の敗北で、朝鮮半島に進駐したソ連が、金聖柱に目をつけた。彼は金日成になりすました。白頭山で金日成が闘ったわけではない。1994・4・8死。『金日成選集』がある。



日帝に総攻撃を命じて解放した金日成、という伝説がある。だが。金日成は、19才から抗日ゲリラで、しかしハバロフスクのソ連 88 特別旅団に行って入った。1 部隊の隊長になった。その旅団の極東軍中佐スハーノフは言う。北にはソ連軍が侵攻し、金日成にはこの戦いに参加させなかったと。

ソ連の特別宣伝部長グレゴリー・メクレルは、多くの人と面接し、北の指導者を選ぼうとした。1 人は、チョー・マンチクで、最も知られた政治家であった、だが彼は反共思想であったため、不的確であった。メクレルは、金日成に多くの質問をし、適当だと考えた。

1945 年 10 月 14 日、ソ連歓迎集会で、33 才の金日成を英雄として紹介した。人々は騒いだ。若いから偽物ではないか、と。メクレルは策略を用いて、これを打ち消した。故郷への訪問もさせた。金日成をソ連は北の指導者とした。彼はメクレルの指導を忠実に実行し、2 人は行動を共にした。彼はあらゆる面で金日成を育てた。

1945 年は、日本では終戦というのが、朝鮮では独立という。この終戦後の 1945 年に、李承晩と金日成の朝鮮人民共和国が成立した。これまで朝鮮独立はカイロ宣言で決まっていた。1945 年にモスクワの米・英・ソ外相会議で、統一政府樹立の話し合いが着かず、国連へ持ち込まれた。朝鮮委員会が設置され、北朝鮮は非協力だった。

1945 年 12 月 17 日 朝鮮共産党北部朝鮮分局第 3 次拡大執行委員会で、金日成の指導権が確立した。

解放後、ソ連軍と金日成によって、北では土地改革として地主は土地を没収された。46 年 3 月 5 日から 1 カ月弱で完了した。ソ連の規定により、5 町歩以上の地主の土地を没収するのであったが、ソ連軍は地主をそのまま追い出した。

北は、9 月 9 日、朝鮮民主主義人民共和国を樹立した。南北両国は北緯 38 度線で区分された。ソ連は金日成を手下に使い、彼は権力闘争で勝利した。ソ連軍が北に駐留した。

北朝鮮は、50 年代に協同農業化を始め、58 年には 100% になった。これは

現在に至るまでの失敗の始まりであった。

1946年12月、米英ソ三国外相会議で、統一した朝鮮臨時政府をつくること
が承認された。モスクワ協定である。5年を上限とする信託統治を行う、こ
とが決定された。これが国内で反発をひきおこした。右派は反信託で、左派
は賛信託であった。

金日成は、北を造れといい、南朝鮮労働党は本質を見抜けないまま、これ
に従った。

1948年5月10日、南だけの単独選挙が、アメリカの提案で行われた。47年
11月の国連総会で可決されたものだった。金日成も、社会主義諸国も反対し
た。左翼は単独選挙反対で、選挙を破壊妨害した。北が選挙に反対したので、
単独選挙になった。北の人口は南の半分だった。しかし北にも大義名分はな
かった。46年に政府を造っていたからである。北が先に分断国家を造った。
1946・2・8の金日成を委員長とする北朝鮮臨時人民委員会がそれだった。

アメリカは朝鮮人を人間と見なかった。アメリカは流血の弾圧をした。1948
年8月に急いで選挙がされ、李承晩(3)が率いる大韓民国が成立した。南＝
韓国に米軍が駐留した。李承晩は、武力統一を主張した。48年、初代大統領
となった。同年、北朝鮮が成立し、アメリカは南から撤退した。

北では、ソ連時代になって、旅行の自由、移動の自由がなかった。すぐ秘
密警察が組織され、密告が奨励された。言論の自由がいつそう狭められた。
謄写板を個人で持つことは禁止された。1947年だけで44,426人が逮捕さ
れた。保安要員は1・9から2・1万人に増えた。特別労働者収容所が17箇
所設置された。

南では、1947年3・1の、三・一独立闘争28周年のデモと警官の弾圧が起
きた。これが原因で、48年4・3済州島蜂起が始まった。南朝鮮労働党済州
島支部の指導によるゲリラが蜂起した。島の警察や右翼団体が、ゲリラの家
族を含めて、襲撃した。米軍政は、本土から警察と軍隊、1,700人を急派させ、
無差別攻撃を行なった。右翼テロ団も乗り込んできた。この混乱を「共産主
義の扇動」とし、民衆への集団暴行に加担した。3・5万人が殺された。

ゲリラの総司令官は李徳九であった。ゲリラ部隊は、山にこもった。49年6月におわる。李は、1920年済州島の裕福な家で生まれた。日本・立命館大学で学んだ。日本軍に召集され、敗戦で除隊し、済州島に戻った。朝天中学校で教えた。5・6月ころゲリラの司令官となるが、部隊を去り、49・6・7 仲間の裏切りから自殺した。4・3事件を北は沈黙していた。

北の海州市で南朝鮮人民代表者大会が開かれ、代表1,080人が集まった。北の最高人民会議委員を選ぶためだった。北は212人、南は360人の定員のうち、北はすんなり選ばれた。南は1,080人が地下選挙で選出され、この中から360人を選ぶことになった。集まったのは1,002人だった。済州島闘争最高指導者金達三も大会に出席した。朴憲永は亡命の形で北で居候の身だったが、朴は副首相になる。共和国が樹立された。ここまでソ連の思惑通りの展開であった。

49年3月、金・スターリン秘密会談で、北の攻撃による南進が決定した。金日成は武力をスターリンからとりつけた。49年5月、金は、中国と話し合い、中国軍内の朝鮮兵3万人をもらった。6・25 南北バラバラだった大衆運動を、祖国統一民主主義戦線に統一化し、6・30に、南北労働党を統一した。

これら戦争準備をマッカーサー（韓国発音ではマケダ）は全部つかんだ。マッカーサーは、日本で、49・9・8 在日朝鮮人連盟とその青年同盟を解散し、10・19 民族学校を閉鎖し、50・6・6 日共全中央委員を追放した。

49年12月に金日成は訪ソし、スターリンに会い、戦争の意思を延べ、支援を求めた。スターリンは同意した。50年3月、北朝鮮は開戦の意向を中国の毛沢東らに伝えた。金日成は4月に北京を訪れ、意図を直々に伝えた。中国はこの時点まで、この戦争に荷担することは考えていなかった。10月、周恩来はソ連へ飛んだ。スターリンは中国の出兵を望み、ソ連は参戦しなかった。だが毛沢東は出兵を決めた。

1950年6月25日、朝鮮戦争が勃発した。朝鮮戦争を韓国戦争という。1950年、アメリカは韓国と軍事協定を結んだ。そして朝鮮戦争を準備したとされ

る。だが1950年6月25日、北朝鮮軍の奇襲攻撃を受けて南朝鮮側がそれに反撃を開始した。戦争を望んでいたアメリカにとってはチャンスだった。こうして朝鮮戦争が始まった。マッカーサーは中国の参戦を想定していなかった。一方、アメリカは中国への侵略を考えなかった。

戦争を起こしたのは金日成であった(4)。朝鮮戦争が起こされたところから個人崇拜が行われた。北が一斉攻撃をした。まず韓国の9割をとった。

戦局は一進一退であった。そこに、中国・ソ連の援助、アメリカの援助が入った。金日成は、なぜかアメリカの介入なしと判断した。

金の予想に反し、アメリカが参戦した。9月15日、仁川にマッカーサーが上陸し、9・28 ソウルを奪回した。国連でソ連がボイコットしたすきに、アメリカは国連軍によって参戦した。これで北は敗北を喫した。金日成は塹壕の司令部で震えていた。

南に有利になった戦局は、スターリンの死で休戦となった。李大統領は、休戦に反対した。1953年7月2日、朝鮮戦争が終った。北緯38度線で分割する休戦協定が結ばれた。先の境界とは少し違うものだった。朝鮮戦争によって、戦後経済の停滞に陥っていた日本は、発展のきっかけを与えられた。この戦争は、20世紀後半のアジアの戦争の型を決めた。つまり大国の代理戦争であった。

朝鮮戦争が始まってから、アメリカでセックス映画が作られ始めた。1953年、板門店で休戦条約が結ばれた。中国側の朝鮮戦争指導者は、彭徳懷であった。この戦争で100万人が死に、1千万人が罹災した。53年に勝利集会が行われた。ソ連系朝鮮人幹部が400人以上参加した。

プロパガンダがされ、その中心人物チョン・サンジンは、文化宣伝省次長として、金日成をスターリンのように偶像化する個人崇拜を進めた。金日成は強化された地位を利用し、粛清をした。当時4つのグループがあった。国内派(=パクが指導者)、ソ連派、中国派、金日成派だった。金日成派は少数派であった。スターリンの死で、ソ連派を粛正した。一方チョンは54年に解任された。54年に記念集会があり、ソ連派はいなかった。金日成の肖像が汜

濫した。朝鮮戦争の失敗をなすりつけるため、朴ら、そして南の革命幹部 12 名が、1955 年に処刑された。林和は、南朝鮮労働党のイデオログで、詩人であった。後、北で、朴憲永副首相らとともに処刑された。(5)

56 年ソ連で 20 回党大会でフルシチョフがスターリン批判を行なった。金日成はモスクワを訪問した。フルシチョフは、金の個人崇拜をやめよといい、それを「深刻な違反」だとした。金日成は、やめると約束した。

北では中国派が密かに政治クーデタを企画した。中心になったのは、オ・ギウン副首相補佐官だった。中国派は会場で政権を批判したが、しかし騒然となり、罵声で中国派は発言できなくなり、中国派は追放された。フルシチョフと毛は特使を派遣した。金日成は、中国派の除名を撤回した。しかし翌年追放した。この事件に加わった 400 人以上が公開銃殺された。ソ連はこれを黙認した。トカチェンコ中央委員は、ソヴィエトの威信が傷つけられないためだったと語る。

新たなプロパガンダがされた。千里馬運動であった。経済の躍進、重工業優先、であった。それによって、生活必需品は減少し、医療が遅れた。北では戦後復興がすすんだ。その間に、千里馬運動がおこされた。ノルマ以上の生産が目指された。千里馬とは 1 日千里を行く伝説的な駿馬のことで、これにならない金日成が工場や企業所の生産力を上げようとした運動である。やればできるという精神論である。

金日成はソ連と距離をおいた。金は、解放前からの勢力を排除した。1957 年、金は、ソ連派と中国派を排除した。61 年の南の朴のクーデタを見て、金は軍事に傾斜する。1960 年代半ば、金日成は権力を固め、国防力を強化した。1965 年、主体思想が確立された。このチェチェ思想 (= 主体思想) とは、中ソと離れ、独自の路を行くこと、金が頭脳、党は神経、国民は躰となり、国が生命体になる、というものである。金日成が考え、体系化したとされる主体思想は、「人間がすべての主人であり、すべてを決定する」「人間が世界を改造し、自己の運命を切り開く上で決定的な役割を果たす」というもの。そうした偉大な思想を実現するのは、金日成の他にはないとして、独裁化へ

の道を敷設するものであった。

59年、日本からの帰国事業が行われた。

戦前の日本の朝鮮人運動指導者は、金天海だった。戦前は朝鮮人も日本共産党に入っていた。金天海の後任は朴思哲だった。韓徳銖が1955年、当時、日共が指導していた在日朝鮮人運動を朝鮮人の手に取りかえた。

金日成と韓が結び付いた。金は、祖国統一民主主義戦線（＝民戦）に日共派をいれず、韓をいれた。路線が転換された。在日朝鮮人は日共から離党した。55・3、民戦の19回中央委で転換がされた。朝鮮戦争後、北は人が欲しかったのである。金日成が、1958年9月8日に帰還歓迎を述べた。朝鮮総連はこれを機に帰国推進運動をした。1959年8月、日本赤十字社と朝鮮赤十字会は、カルカッタで帰還協定を結んだ。12月に帰国第1次船が新潟を出た。2隻だった。3年で7万人の朝鮮人が海を越えた。当時在日朝鮮人は60万人だった。3年半中断し、1984年まで事業が続き、約10万の朝鮮人と約2千人の日本人妻が北へ渡った。そのころ総連やマスコミは、北を地上の楽園だと宣伝していた。総連は実際を知っていた。帰国の理由は、日本での貧困などであった。これは事実上のらち、であり、北は実情を知られたくないので彼らを返さないのである。多くの人の消息が途絶えた。これは、生活必要品が不足していると不満をいい、それが原因で監獄へ送られたからである。

南では、60・4・19 デモが起き、李大統領は辞任し、アメリカに亡命した。4月革命であった。この李承晩大統領を倒した事も、一時代を画す。1961年5月、朴が軍事クーデターを起こした。韓日会談が開かれ、学生・市民はこれに反対した。朴は6・3 戒厳令をしき、日本は朴を支援した。1965年、日韓基本条約が成立し、これも一時代を画した。日本は南だけを合法政府とした。民衆デモが起きた。ソウルの人々に聞くと、この朴大統領が一番偉大とされる。いわば、開発独裁を指導したのだった。だが1979年、朴は暗殺される。

北では、60年代を通じて、社会主義諸国の援助で経済が繁栄していたように見えた。60年代末にその援助が切れて、落ち目になり、経済の斜陽化が表

面化した。1967年、中央委第四期15回総会で、金日成は大規模な粛清を行った。金のクーデターである。6割から8割の反対派委員を粛清した。

金日成は軍備増強をした。1962年に全人民武装化をし、それは老人子供までを含んだ。国家予算の50%が軍事費に占められ、生活苦がやってきた。

一方、核戦争に備えてシェルターとして地下鉄が作られた。黄ジャンヨブ(97年に亡命)は言う。少なくとも1958年、金日成は核戦争に備えるべきと語った、と。金日成にとって核はなくてはならぬものであり、核兵器開発を狙った。1956年、金日成はソ連の原発を訪れた。ソ連との合同研究所ができ、金日成は多くの研究者を送った。次いで、北に、多くのソビエト研究者を招いた。ニョンピョン核研究センターが作られ、ソ連の大学で物理学を学んだ優秀な朝鮮の人々が集まった。1964年に原子炉建設が完成し、次々と原発の清蔵に取り組んだ。1965年 北の原子炉が始動した。

この時期に、中ソ論争が起きた。金日成は中立を保ち、中ソ双方から援助をえた。65年、金日成は主体思想を打ち出し、個人崇拜が確立した。主体思想はプロパガンダの寄せ集めであった。国民の洗脳が時を移さず実行された。歴史が書き換えられ、金日成が賛美され、写真も偽造された。

1967年、南北衝突が起こった。北の挑発であった。ソ連は、その北をコントロールできない、そして危険だと、見始めた。2日後、北が米のプエブロ号を拿捕した。これに対し、米は攻撃を準備し、ソ連はこれに驚いた。ソ連のコスイギン首相は、書簡をアメリカ大統領に送り、米は対話に向かった。金日成はソ連に書簡を送り、反撃を加える、と云った。ブレジネフ書記長は金日成に、訪ソを呼びかけるが、金は拒否した。11カ月の交渉で、米は折れた。当時米国務長官はカツツエンバックだった。プエブロ号の乗員のみが帰還した。プエブロ号事件は北の瀬戸際政策の始まりだった。北は戦いを誇示した。米に対する勝利の証として、プエブロ号はピョンヤンで展示された。

1968年 韓国大統領府がゲリラに襲撃された。金が武力挑発をしたものである。

1968・8・24 宮本(日共指導者)・金会談が行われた。

1970・3月 航空機よど号事件が起き、犯人らは4・3に北へ着陸した。

70年代初め、北は、西側諸国・西欧諸銀行から大規模な借款をした。だが債務返済のための輸出産業の育成に失敗し、70年代中ごろ、債務不履行を宣言した。89年には負債額は68億ドルになった。経済状態、とくに食糧事情は70年代に入って一変する。

1972年、金日成は60才になり、憲法改正に着手し、絶対権力を確立した。憲法に主体思想を入れた。金の独裁体制がここに完成した。民需よりも軍需で、北の経済が悪化した。70年代に個人崇拜は強化され、各地に巨大な銅像が建てられ、金日成への絶対忠誠が押しつけられた。権力を息子・金正日に譲る準備が始まった。権力の世襲は社会主義国では、なかった。

70年代に各国社会主義の幹部たちが北を訪れる。東独のホネカーらである。北は、友好国の外交官でも外国人には情報を与えなかった。当時の東独副大使バーテルはそう語る。

74・2・14、党中央が後継者を決定したことを、「労働新聞」が伝えた。党中央とは1人の人間をさすものであり、金日成である。しかしこの件は明らかにされることはなかった。金正日は、党幹部への講演で、後継者として活動すると語った。金日成は、後に幹部キム・ヨンジャを追放する。金正日は、三大革命小組を組織し、大学卒業者をそこに取り込んだ。これは独自の監視網だった。いわば金正日の親衛隊であり、すべての人の考えを党中央に報告した。

この人は初め、金正一という名だった。その後、威厳をつけるために改名した。

金正日の次のねらいは、祖国統一、対南工作であった。70年代から頻繁に党中央から指示が出ていた。70年代なかば韓国は警戒を強める。そこで、対南工作は日本を経由するルートがとられた。

77年秋から日本人拉致事件がおきた。日本政府は被害者として一六人を認定している。日本人のパスポートと日本語教師が必要だった。それ以外に、日本に留学していた韓国人を北に連れてゆくのがあった。命令は無条件に貫徹

される。すべての活動は金正日の指示であった。

1978年ころ北朝鮮による日本人らち事件があった。日本人・横田めぐみ(中学生)さんら——現2006年として、——は、20数年間行方がわからなかった。レバノン女性も20人らちされた。そのうち4人は、日本へ行くと称してピョンヤンへ連れ去られた。宣伝フィルムを見せられ、警護された。そこには自由のない外国人が沢山いた。そこから脱出できなかった。そのうち2人がベオグラードへ連れてこられ、監禁され、銃でおどされ、電話させられ、らち20年後で、脱出・帰国した。

1980年第六回党大会の前に、中国は「人民日報」で、後継者指名は認められないとした。金正日はこの大会で初めて登場した。金正日の後継者指定は発表されず、総書記に任命されなかった。その理由の1つは中国だった。マルクス主義に反するとされた。そこで金日成は、最高幹部の一人に話した。そうすれば広まるだろうと思ったからだ。キム・ヨンジュが後継者と思われた。しかし、金日成は信頼できるのは家族だと考えた。金正日についての情報は少なく、まさか後継者になるとは考えられなかった。東独の朝鮮担当課長ジーベックは、金正日が選ばれるべきではないと考えた。アメリカに亡命し、金正日にロシア語を教えた家庭教師は、金正日が後継者は自分であり、父に尽くした、と云ったと述べた。黄書記(亡命した)も金正日をよく知っている。彼によると、金正日は大学に入る前から自分は政治家になると云った、という。当時関係者たちは、金正日が権力を握るとは想像もしていなかった。

だが、1973年、労働党の人事で、金正日が中央委となり、宣伝情報部の責任者になる。後継者になるかもしれない、と人々は考えた。

50年代に、金日成は、統制の一手段としてマス・ゲームを導入した。70年代のマスゲームは金日成への忠誠のあらわれで、一糸乱れずの動きが要求された。訓練は非常に厳しいもので、訓練の間はトイレに行くこともできず、半年間は勉強する時間も訓練にあてられる状況だった。

金日成は、金正日を組織部の責任者に任じた。73年、金日成は、金正日を

後継者に指名した。

70年代後半から南北の経済格差が広がり始めた。80年、南でチョンドハン政権が誕生した。格差は二倍となった。

北はそこで主体思想を利用した。これは人々を非合理的に導くことになった。主体思想塔が全国で作られた。しかし経済の停滞は一向に改善せず、政府は1983年の経済指標の発表をとりやめた。

南を1972年に、ニクソンが訪門した。南北声明が出され、対話がはじまった。しかし歩み寄りの実現せず、対立したまま終った。1974・1月、南は、大統領緊急措置1号で改憲運動に最高15年の刑が於かれ、4月に死刑へと厳罰化され、1974年に金芝河に死刑判決が宣告された。(6)

1975年、南で、軍事クーデタが朴ちよんひにより引き起こされた。朴の維新体制であり、反共教育が行われたが、1979年に、朴は暗殺された。

1979年から、南で、全斗かん政権の経済発展がすすんだ。1980年、死刑判決で投獄されていた金芝河は出獄した。1981年、ソウル・オリンピックが決めた。

北では、80年、金正日後継者を初めて党大会で披露した。

1983年、北の作戦部の工作によって、ラングーン事件(=ビルマ)がおき、韓国代表団を死傷させた。金正日の命令だった。大統領の暗殺が目的であった。(黄)

1984年 アメリカは疑問をもつ。北の、プルトニウム製造に気づいた。そこでアメリカはソ連に問うた。94年に北はソ連から警告を受けた。それを金正日に伝えると、「無視せよ」という返事が返ってきた。

1985年、韓国は、北方政策をきめた。80年代後半から韓国企業は中国への進出を開始した。韓国が1988年のオリンピックの開催国になり、83年に南北の格差は三倍になった。金親子はあせった。ここでチョン・ドハン暗殺未遂事件を北が起こす。金正日が指揮した。

85年、金親子に変化がおきた。最高指導者は息子だと、金日成は語り始めた。また南でのオリンピックの開催は反対すべきだ、と云った。北は2つの

朝鮮を認めない。東独のホネカーが金日成を訪れた。そして東独はオリンピックをボイコットできないと告げる。金日成は無言だった。この時、北の目標はソウル・オリンピックの崩壊に向けられた。

87年の民主化運動で南の軍事独裁体制はくずれた。1987年、大韓航空機事件＝爆破事件が起きたが、これは北朝鮮のテロであった。実行した金賢姫によると、金正日の指令であった。韓国オリンピックに打撃を与えるという目的だった。彼女は、金日成総合大学から平壤外国語大学日本語学科へ転学し、1980年、党の秘密工作員に任命された。大韓航空機爆落を金正日が肉筆で指令した。「二つの朝鮮を策動しようとする南朝鮮の'88オリンピックの開催に大きな打撃を与えようとするもの」であった。金勝一と彼女が共謀した。1987年、2人はバグダッドから飛行機に乗る。彼女は日本人・蜂谷真由美と名乗った。11・28 アブダビで降り、次にバーレーンで降りた。出発したKAL 858機はソウルへ向かい、その間に爆発した。トランジスター・ラジオ仕掛の液体爆薬が使用された。彼女らはバーレーン空港で捕まり、金勝一は服毒自殺し、賢姫は、毒薬アンプルの服毒自殺に失敗し、ソウルへ連行された。1989年に死刑宣告を受け、1990年に死刑が確定したが、その後、大統領特別裁定で釈放された。

1987年、大統領選挙でノテウが36%で漁夫の利を得、当選した。金大中、金泳三は、共倒れとなった。1988年、ノテウが大統領に就任した。

この年、ソウル・オリンピックが開催された。北とキューバ以外の各国選手団が参加した。オリンピックの招致と成功で、韓国が北に比べて優位に立った。北の国民は南のオリンピック開催について何も知らされなかった。その代わりにオリンピックの直前に、北では建国40周年記念が北で行われた。この時、南北の経済格差は4倍になった。

1989年、ハンガリーと韓国が国交を樹立したのを機に、その後、東欧社会主義5カ国と国交を結んだ。また韓国五輪でソ連は韓国承認へ傾き、1990年9月、ソ連は、韓国と国交正常化を行なった。1993年に、初の文民大統領・金泳三が就任した。

南では、1991年、南北対話がはじまる。1991年、学生の抗議焼身自殺事件がおき、金芝河はそれを批判し、同時に金日成をも批判した。

1992年の大統領選挙で、金泳三が勝った。初の文民大統領であった。1994年7月に南北首脳会談が予定されていた。だが金日成は、その直前に死去するのだった。韓国は、96年にOECDに加入するが、しかし97年IMF管理下に入った。

北では1988年、国家投資が失敗した。金日成の個人崇拜が進む北朝鮮で、その後継者として息子・金正日が決まった。金親子による王朝支配を、ゴルバチョフ・ソ連大統領は、「社会主義的君主国」と命名した。

1989年、ベルリンの壁が崩壊した。12.25 ルーマニアのチャウシェスク夫妻も殺される、だがその処刑の知らせは、北では伝えられない。東独に留学していた若い軍人たちが粛清された。というのはチャウシェスクは軍人に殺されたからであり、恐ろしいからである。北で新たな強権政治が始まる。金日成は金正日に軍の指揮権を譲った。

1990年、金丸、田辺、金日成の三党共同声明がでて、金親子の体制を助けた。日本の旧社会党は、北の真の姿に気づかないで、だまされていた。

1988年、ソ連は、北への武器援助を停止することを決定し、北は大古名支柱をうしなった。

1989年、北で世界青年祭が行われた。

北はソ連に、核を急ピッチで作っていると伝えた。ソ連は北の核を無視した。金日成から金正日に開発指揮が移った。彼は核兵器で金正日の格をあげようとした。

1990年、ソ連は、北と国際通貨による貿易をすとした。北にとっては打撃であった。ドルを稼がねばならないからである。

90年、金日成は、最高人民会議で、国防委員会を作って承認させた。その一方で、農業の不振で餓死者の発生が日成に報告された。1991年、北は国連加盟を申請した。南北対話が再開したが、ソ連の崩壊で、北への原油輸入がとだえた。

9月24日、林 永宣・元朝鮮人民軍中尉は、金日成父子打倒のビラを秘かに作り、これを車窓からバラ撒いた。1993年8月、林 永宣は韓国に亡命した。

1991年、アメリカは北の戦略核兵器を撤去すると声明した。翌年、北はセンターの様子をフィルムで公開し、IAEAの査察が始まった。北はプルトニウムを作っていた。そのため、強制査察は受け入れなかった。そこでアメリカは韓国と共同軍事演習をした。そのため北は、核拡散条約から脱退すると主張した。だが避けられた。それでも北の強制査察はできなかった。

91年、金日成は、国内の農業不振を知った。金日成は、人民軍最高司令官の地位を息子に譲った。

92年、中国も韓国と国交を結んだ。北で軍の1部のクーデター陰謀事件が起き、関係者たちは処刑された。

金日成は、憲法を改定し、国防委員会の格上げをした。これが軍の統帥権を持つことになった。93年、金日成は、その国防委員長に息子を任命した。

1993年に、北では核兵器開発が進み、1992年、初めてのIAEA(国際原子力機関)の査察に続いて、93年に、重大な開発地点となった2カ所を除いて行われた。

北では、米＝コメの配給は早い所で1993年から切れている。WFP(国際世界食糧計画)に援助してもらい、そのための統計表を提出すると、金正日が主張した。これに金日成は激怒した。餓死者がいるとは何事かに加えて、国の統計を外に出すとはいけない、という理由であった。父子が対立した。子の軍事路線と父の民生路線の対立であった。父は、農業と経済の立ち直しを始める。父は、原子力発電でなく、火力発電を望んだ。子は軽水炉が欲しい。また94年の南北首脳会談に父は賛成し、子は否定した。父の死後、94年夏から、金正日は民衆の抹殺に乗り出す。父が生きているかぎり絶対に着手できない恐ろしい計画を、キム・ジョンイルはとった。

1994年、南北協議の場で、北は、戦争準備が出来ていると発言した。そこで、カーター元大統領が訪朝した。韓国は防災訓練をした。アメリカが軍の

増強を考え始めた時、金日成が開発の凍結を申し出たと、カーターは電話する。そこでクリントンは米朝協議を受け入れる。協議では北の主張が受け入れられた。軽水炉をもらうなどと引き換えに、核開発は停止されることになった。

94年、ある会議が終わった次の日、父は急死した。金日成は、正日に謀殺された、と萩原は仮定する。(7)その理由は、1、金日成の別荘に心臓医を送らなかった。2、金正日の手下の軍人をヘリコプターで送った。3、前日の会議の直後、参加者を平城に引き揚げさせ、正日派の数人だけ残した。金日成の死後、彼らが部屋を片づけた。4、金日成の死後、別荘から帰る軍人の乗るヘリコプターは途中で爆破させた、である。

1994年は、核疑惑で緊張した年であり、4月8日に金日成が死んだ。7月に首脳会談が予定されていたが、彼の死で、ならなかった。

1994年に飢餓が発生して、政府批判の落書きが国内各地で見られるようになった。中国との国境付近の会寧（フリヨン）市内、小学校の用務員室らしい部屋で、「破局へ迫いやる金正日。人民たちよ、目覚めて闘おう」「三百万人が飢え死にした。だれの責任か」「改革開放だけが生きる道だ。改革開放せよ」などと鉛筆で書かれた。これは2001年1月初旬にビデオで録画され、日本に伝わった。（「北海道新聞」2001・2・15）

1997年2月、最高幹部・黄長燁が韓国へ亡命する。黄長燁は、金日成の右腕で、主体思想を理論面で支えた、朝鮮労働党書記であった。黄によれば、「北朝鮮は封建主義」「世界最貧の住民生活」である。金正日は「個人独裁思想であって、暴力を神聖化する軍国主義思想」の人だ、と。95年に50万人が餓死し、95から96年末まで150万人が餓死した、と。

97年、金正日は総書記になる。1998年8月、テポドン、ミサイル＝人工衛星＝ロケットを発射する。対応策としてアメリカは北へ援助を行なった。だがその後のブッシュ政権は強硬姿勢をとった。

1997年、韓国大統領選で金大中が、当選した。彼は72年朴独裁に抵抗し、亡命し、73年に東京かららちされ、80年、全から死刑宣告を受けた経歴をも

つ人である。

1998 年、中国・天安門事件が起き、死者 2 万人、負傷者 3 万人にのぼった。

2000 年 6 月、金大中と金正日の首脳会談がされた。10 月 金正日とオルブライト米国務長官との会談がされる。北では白頭山に金正日が生まれた跡をでっちあげた。

2001 年 日本の朝鮮総連の朝鮮銀行から、金正日が金を収奪した事件が知れた。朝鮮総連は金体制のむごさを知っているのだが、金正日に金を送って助けていた。

2002 年 9 月、小泉・金正日会談があった。2005 年、北は核兵器開発したと発表した。

黄書記の 1999 年のインタビューによれば、北の状況はこうである。

1996 年 100 万人が餓死した。1996 年に、「中隊長以下は結婚するな」と命令が出た。

外貨稼ぎのために、麻薬を、党中央が作っていた。軍が主に作り、会社も作った。金正日が提案し、金日成が公式に指示した。

革命のため手段を選ばない。北においては、モラルはブルジョア的で、体も精神も首領に捧げる、というのが最高の道德だ。

金正日は徹底的利己主義者であり、勝てそうもない戦争はやらない、独裁を失いたくないからだ。

金正日は、権力維持に抜群の能力がある。政治家としての能力はない。父をおだて、甘言で釣るのが、非常にうまかった。独裁への障碍と見なした金英柱（おじ）を失脚させた。彼は非公式を好む。

軍が人民を略奪している。自然発生的反政府組織はたくさんある。朝鮮総連が北を助けないでくれ——である。

私が別掲の書物から読み取った北の状況はこうである。

警察の機能を果たすのは、保衛部、安全部である。

「成分」という各種の階級があり、これらは封建的身分に似ている。

今、地方の国民は、少量のトウモロコシとキムチのみで生活している。地方では人を家に呼べない、もてなす食糧がないからである。平壤は、党と軍の幹部が住むため、他地方とは違い、党幹部と軍隊だけに食糧が支給される。

金正日時代から国防が異常に増大した。予算を軍にまわす。金正日時代から特に賄賂がひどくなった。にセドル、麻薬を作る。

全国の景観のよい所すべてに別荘を作り、地方視察をする。そこに女性を3千人配置した。全国から美女を連行し、金親子に捧げた彼女らを宴会に出す、部下に贈物として与える。悦び組である。金は、年寄りで、コブがきもち悪いとされる。金正日に認められたら最高の出世だ、だから頑張る。

金正日は、私生活では、捨てた女性は下賜する。平壤の高級マンションに妾を数人囲っている。裏切った妾を処刑する。

金正日は映画好き、女優好きだ。有名監督夫妻をらちした。ほとんどの映画を見る。

金親子のためだけの特別の菜園がある。金正日は宴会好き、美食好きで、日本の寿司は大好物である。全世界から美食を求める。生きた魚、生きた猿の脳味噌を食べる。

幹部のみ、家、車、給料、ドル・ショップ、食事において特権がある。兵士は給料が安く、食事也十分ではない。戦争したら負けそうであると、兵士も云う。北では10年の兵役である。

強制収容所があり、無断で外国へ、たとえば中国へ行った人、その家族。金正日に嫌われた人が収容される。外国出国は犯罪であり、移住の自由はない。強制収容所では、いっそう食糧が少ない。

金日成政治大学は、いわゆるスパイ学校であり、ここで武闘訓練をする。政府には関係がない施設なので、外国が政府と交渉しても、政府は答えられない。ここでは外国語教師を必要とする。そのため海外かららちする。北には、韓国の模型都市が作られ、韓国向けスパイ訓練のためである。韓国語、韓国生活を学ばせる。日本へ密入国するのは簡単である。

出世するのは、党員か大学生であり、よい階級の子弟でなければ、大学へは滅多に行けない。党幹部の子は大学へゆける。大学へ行けないものは、軍隊へゆく。

金正日はアメリカから金品をねだる政策をとっている。一方で、日本の朝鮮総連から送金させる。国家と別の組織で、金正日の組織が、商社で、韓国特産品を売る。

主体思想は、マルクス・レーニン思想を発展させたものだとする。

チャウシェスク流の崩壊を恐れる。海外に別荘と預金をもっている。

北を逃れる人は脱北者といい、それは命がけである。彼らが中国内朝鮮人地帯へ逃げても、中国で官憲に見つからないように、大変苦しい生活をする。

公開処刑がある。

在日韓国朝鮮人は64・5万いて、かれらを親戚にもつ人は、日本からの送金により、経済的にはよい暮しができる。ただしいつまで続くか分らない。

密告が奨励され、通信員がいる。党員になるには賄賂、党や政府にものを頼むのも賄賂が要求される。

農業政策が失敗し、日本帝国主義時代やソ連占領時代の方が食糧事情はよかった。1人あたり農業生産は、日帝末期より減少した。農民は集団農場で働く。

金親子は、指導者同志、将軍、と呼ばせる。金正日は、国家主席になる必要がない、面倒くさいからである。

金日成は不老長寿の薬を求めた。研究所に3千人の研究員をおいた。

体制は金正日の任命制だ。金正日は外国政治家と会わない。夜、仕事をする。金正日は狩が好きで、つかまえた獲物を、また放す。

金日成は尊敬を集めていたが、金正日は経歴に何も無い。金日成でさえ日帝時代に闘争していなかったが、人はそれをしらない。金日成が亡くなった時の、国民の嘆きの姿がすごかった。

無料治療だが、重い病では、高い賄賂を医者に贈る。薬を自分で買って来る。幹部はよい病院へ入る。

人が、畑で、工場で、盗みをせざるをえない。人々には着物が無い。統制経済だから、ヤミ市がある。軍が銃で民間人をおどし、食糧を巻き上げる。食糧のために身体を売る女性が増えた。

金正日は軍しか信用しない。金日成の銅像は世界最大である。

北朝鮮で、多くの子供が凍傷で少しづつ足を失って行く姿がテレビ（2006年）で放映された。南のソウルでさえ冬は寒いから、北ではもっと寒いのである。

結論

アメリカは、イラクを攻撃したが、悪の枢軸の1つである北朝鮮は攻撃しない。占領しても、石油が産出しないから、うまみがない。それに、戦争になったら在韓アメリカ人、在米軍とその家族など（100万人）に、被害が出るからである。

金日成は、かの白頭山の英雄・金日成ではなく、全くの別人である。金正日は白頭山で生まれたわけではない。朝鮮戦争は金日成が始めた。

金正日の時代から、餓死が激しくなった。彼は、核でアメリカを徴発し、国民の反米勘定をあおりたてる。核で物乞いをしているのである。北の目標は、アメリカとの平和協定と国交正常化である。

金親子は、口では統一を願い、だが実際は一番嫌っていた。統一すると体制が崩壊し、一族が皆殺しにされるからである。

北朝鮮は人口1,300万人である。核心階層20%、動揺階層60%、敵対階層20%で（黄によると、30, 40, 30%）、これらは体制に忠誠心を持つ観点で区分されている。金正日は敵対階層を敵視している。チャウシェスク事件の再来を恐れるからである。だから金正日の敵は、アメリカでも日本でもない。彼らである。東北部の住民は、敵対階層が多く、抹殺の対象となった。そこで配給停止という巧妙な手段を考えた。敵対階層の住居地へ1994年から食糧

配給を停止した。咸鏡北道と咸鏡南道である。ナチオス氏は、1 中央政権が北東部を切りすてることを決定した。2 その地域への食糧配給を中絶したために、250 万人の餓死者が発生した。と。(8) 2－3 百万人の餓死は、金正日の意図的な殺人だった。

金正日は核を使って乞食外交をした。食糧援助しても餓死者が増える。災害に対して国際援助がされても、軍部と特権階級に選別的に配給される。援助は軍備に役立てる。援助は、直接困窮者に配らない限り、無駄であるし、有害ですらある。

金正日は、日本を攻撃することはない。南さえ攻撃しないのだから、なおさらである。彼の政策は脅しである。

北朝鮮の金体制は崩壊するだろうか。

北の住民は李朝時代から日本による植民地支配、金日成による独裁に至るまで一度たりとも自由主義の気風を味わったことや民主主義の洗礼を浴びた経験がない。(宮崎, 78 ページ)だから政権の安全は保障されている。それに、中国は北を守り続けることにした。中国の当初の意図は、韓国かアメリカに占領されて、隣国が敵国になることは困るからだったが、最近では北の地下資源にねらいをつけたからである。

金正日は支配が巧妙である。

北の変革にとって大切なことは民主主義である。アメリカはそれを考えず、核問題だけに焦点を絞っているから、これでは金正日の思うつぼにおちいるばかりである。しかしさすがに抵抗運動も北で少し出現しはじめている。実際に有効な力となるのは脱北である。

このままでは、北の政権崩壊は短期間には実現しないだろう。崩壊するとすれば、金正日の死を契機とする自壊作用が発生した時であろう。

(1) イングラム『ベクテル・ストーリー』鹿島出版会。

(2) 角田房子『閔妃暗殺』角川書店。

(3) 李承晩(イ・スンマン)は、李王朝へのクーデタ参加で終身刑となり、

日本が救出した。渡米し、ドクトルとなり、亡命政権をつくる。妻はオーストリア人である。ヤルタでの秘密条約で、信託統治にする、となり、38度線で区分された。李は帰国する、70才であった。4カ国信託統治が決定された。マッカーサーは、南に分断政府を作った。李は信託統治に反対した。南だけの単独選挙が、48年に強行された。単独選挙反対運動がおきる。

- (4) 萩原『朝鮮戦争』文春文庫。
- (5) 松本清張「北の詩人」。
- (6) 金芝河邦訳「長い暗闇の彼方に」中央公論、長編風刺詩「五賊」、処女詩集「黄土」がある。
- (7) 萩原遼『金正日 隠された戦争』文春文庫。
- (8) ナチオス『北朝鮮 飢餓の真実』扶桑社。

参考文献 1

- ヴァルガ『20世紀の資本主義』合同出版 1962年。
浜田和幸『プッシュの終わりのなき戦争』講談社+α文庫
マイケル・ハドソン『超帝国主義国家 アメリカの内幕』徳間書店 2002年。
ランドー『オサマ・ビン・ラディン』竹書房。
広瀬隆『世界金融戦争』NHK出版
広瀬隆『世界石油戦争』NHK出版
広瀬隆『アメリカの巨大軍事産業』集英社新書
酒井『イラクとアメリカ』岩波新書
酒井『イラク 戦争と占領』岩波新書
ブリオディ『戦争で儲ける人たち』幻冬社
マイケル・ムーアの映画「華氏 911」
ウィルキンス『多国籍企業の史的展開』ミネルヴァ書房 1973年。
レイモンド・バーノン『多国籍企業の新展開』ダイヤモンド社 1973年。
青山真一「エネルギー権益からみたアフガン戦争」(『世界』705) p.130
宮崎正広『テロリズムと世界宗教戦争』徳間書店
ラシッド『タリバーン』講談社 2001年

参考文献 2

- 山辺健太郎著『日韓併合小史』岩波新書。
『凍土の共和国』亜紀書房

- 旗田『朝鮮史』岩波全書
ニム・ウエールズ『アリランの歌』みすず書房
金達寿『朝鮮』岩波新書。
角田房子『閔妃暗殺』新潮文庫。
朴『北朝鮮 悪魔の祖国』KK ベストセラーズ
安『北朝鮮 絶望収容所』KK ベストセラーズ
李『北朝鮮 泣いている女たち』KK ベストセラーズ
武貞『北朝鮮深層分析』KK ベストセラーズ
朴『北朝鮮 血と嘘と断末魔』KK ベストセラーズ
辺 編訳『証言 北朝鮮』ザ・マサダ
月刊朝鮮・編『祖国を捨てた女』小学館文庫。
安 明進『北朝鮮らち工作員』徳間書店。
林『金正日の極秘軍事機密』徳間文庫。
金『生きたい』徳間文庫
呂『少女が見た北朝鮮』徳間文庫
白『北朝鮮不良日記』 徳間文庫
李『平壤 「十五号官邸」の抜け穴』徳間文庫
金『金正日 生贄の女』上下 ラインブックス
鄭『北朝鮮の性』ラインブックス
ゆん尹『北朝鮮 人と欲』ラインブックス
金『北朝鮮女諜報員「ノメル08」』上下 ラインブックス
月刊朝鮮『祖国を捨てた女』小学館文庫
康『北朝鮮の最高秘密』文芸春秋
康 明道『北朝鮮の最高機密』講談社。
申『私は金正日の「踊り子」だった』上下 講談社
かん, 安『北朝鮮脱出』上下 文春文庫
金賢姫『いま、女として』上下 文春文庫
〃『愛を感じるとき』 文春文庫
省『闇からのこだま』文春文庫
李『北朝鮮 秘密集会の夜』文春文庫
黄『黄 回顧録 金正日への宣戦布告』文芸春秋
萩原遼『朝鮮戦争』文芸春秋
萩原遼『ソウルと平壤』文芸春秋
萩原遼『北朝鮮に消えた友と私の物語』文春文庫
金, 孫『金正日の権力闘争』光文社:
金『生きたい』ザ・マサダ
野村『北朝鮮 送金疑惑』文春文庫
石丸『北朝鮮難民』講談社現代新書
佐々『謎の独裁者 金正日』文春文庫
全『北朝鮮の女スパイ』講談社+α 文庫
宮塚『北朝鮮ツアー報告』小学館文庫
『北朝鮮 その衝撃の実像』講談社+α 文庫
『金正日, したたかで危険な実像』講談社+α 文庫
『北朝鮮の常識100』小学館文庫

- 石高『金正日のらち指令』朝日文庫
宮崎『北朝鮮大脱出』新潮 OH 文庫
朝日新聞『北朝鮮からの亡命者』朝日文庫
『「北朝鮮」知識人からの内部告発』三笠書房
重村『北朝鮮の外交戦略』講談社現代新書
『涙で描いた祖国 北朝鮮難民少年チャン・キルスの手記』風媒社 2001
『金日成 その衝撃の実像』講壇社 1992
福岡, 在日韓国・朝鮮人, 中公新書
金, 極秘韓国軍, 上下 光人社
金, 実録 KCIA, 講談社
和田春樹, 金日成と満州抗日戦, 平凡社
金日成回顧録 1-5, 雄山閣
朝鮮民主主義人民共和国, 三一書房
白『北朝鮮 不良日記』ザ・マサダ
武貞『北朝鮮 深層分析』KK ベストセラーズ
李『北朝鮮 秘密集会の夜』文春文庫
金 北朝鮮 女諜報員「ノメル08」上下 ラインブックス
李 平壤「十五号官邸」の抜け穴 ザ・マサダ
崔 闇からのこだま 上下 文春文庫